



2024年3月期 決算説明資料

株式会社フェイスネットワーク
(東証スタンダード市場：3489)

2024.5.22



我々は一人一人の夢の実現をサポートする
ワンストップパートナーであり続けます

「Face (Faith) to Face」 一人ひとりのお客様を大切に
人と人のつながりから生まれる信頼
Faith Network
「信頼」の「ネットワーク」を深く広げて、お客様の夢の実現へ

事業推進の根本的な考え方は「オーナー保護」

長期的に安定した収益が得られる物件であること
入居需要が常にある物件であること

“入居者視点にこだわるモノづくりの会社”

 **FAITH NETWORK**

——— こだわりのモノづくりを実現するビジネスモデル ———

新築一棟RCマンション
(GranDuo シリーズ)

×

城南3区
(世田谷区・目黒区・渋谷区)

×

ワンストップ
サービス

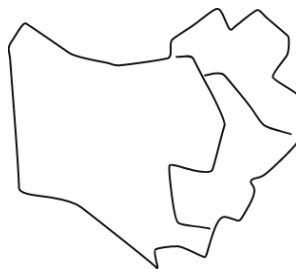
新築一棟RCマンション グランデュオ (GranDuo シリーズ)



- ・独自のデザイン性と居住性の両立
- ・優れた耐久性、耐震性、遮音性
- ・鉄筋コンクリート造(RC造)

長期に亘って物件価値が
維持できるパッケージ

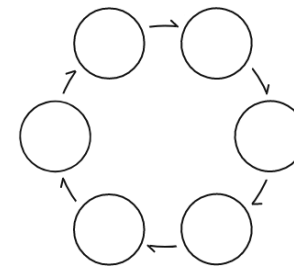
城南3区 (世田谷区・目黒区・渋谷区)



- ・都心に近く利便性の高い好立地
- ・人気の街が多く通年の入居需要あり
- ・投資対象としての割安感

好立地が長期安定的な
収益性確保を実現

ワンストップ サービス



- ・中間マージンの排除
- ・スピードと精度を高めた仕入物件獲得力
- ・高い業務連携による高品質な設計・施工

土地の仕入から設計・施工
販売・賃貸募集・物件管理まで
全て自社内で完結

1. | 2024年3月期 決算概要
2. | 株主還元
3. | 中期経営計画
4. | 2025年3月期 連結業績予想

2024年 3月期 決算概要

業績計画未達

大型物件の売却交渉に時間を有し、期中に販売できず業績を下方修正

城南ファンドへ 物件売却

みずほ信託銀行とみずほ不動産投資顧問が組成サポートする「城南ファンド」へ3物件を売却

岩本組を子会社化し 連結決算開始

90年の歴史を持ち、高い施工技術に定評のある株式会社岩本組を子会社化

業績計画未達

連結売上高

222億84百万円

期初計画比

△ **20.3** %

【ご参考】前期比

6.3 %

連結経常利益

17億84百万円

期初計画比

△ **37.7** %

【ご参考】前期比

△ **22.5** %

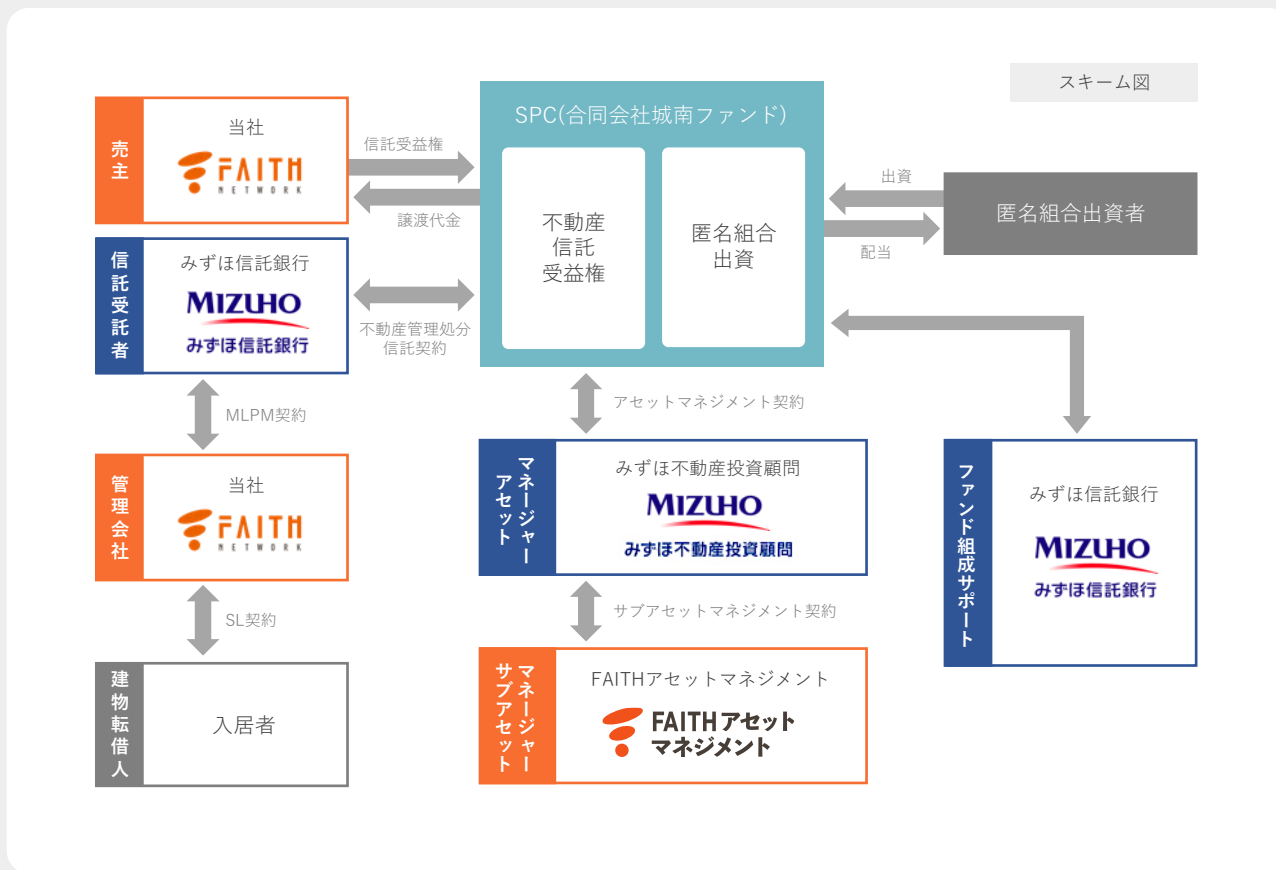
2024年3月期中の計上を織り込んでいた、過去最大規模の大型物件の条件交渉に時間を有し、期中の販売ができなかったことから売上・利益ともに予想を下回った

城南ファンドへ物件売却



契約日 2024年2月29日
 引渡し決済日 2024年3月25日
 ファンド組成日 2024年3月25日

みずほ信託銀行株式会社及びみずほ不動産投資顧問株式会社が組成サポートする合同会社「城南ファンド」に開発した3物件を売却



出口戦略の多様化を進めるべく、組成サポートを受ける企業と連携し、ファンド規模を拡大する私募ファンドへの物件売却を推進

岩本組を子会社化し 連結決算開始

1933年の創業以来、90年の歴史を有し、建築家から指名を受けるなど施工技術で高い評価を得ている岩本組の全株式を取得し、2023年7月14日に子会社化



株式会社岩本組 会社概要

商号	株式会社岩本組
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷3-53-2 BIZ原宿2階
代表者	代表取締役社長 古木 秀明
事業内容	建築工事の施工及び設計
資本金	20百万円
設立	1944年（1933年5月創業）
従業員数	53名（2024年3月末時点）

当社が開発する高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO」シリーズを中心に共同施工を推進

2024年 3月期 連結損益サマリー

(百万円)

	【参考】 個別 23.3期実績	連結 24.3期 実績	【参考】 増減額	【参考】 増減率
売上高	20,968	22,284	1,316	6.3%
営業利益	2,518	2,090	△ 427	△17.0%
営業利益率	12.0%	9.4%	—	
経常利益	2,301	1,784	△ 516	△ 22.5%
親会社株式に 帰属する 当期純利益	1,593	943	△ 649	△ 40.8%
一株当たり 当期純利益	160.81円	95.59円	△ 65.22円	

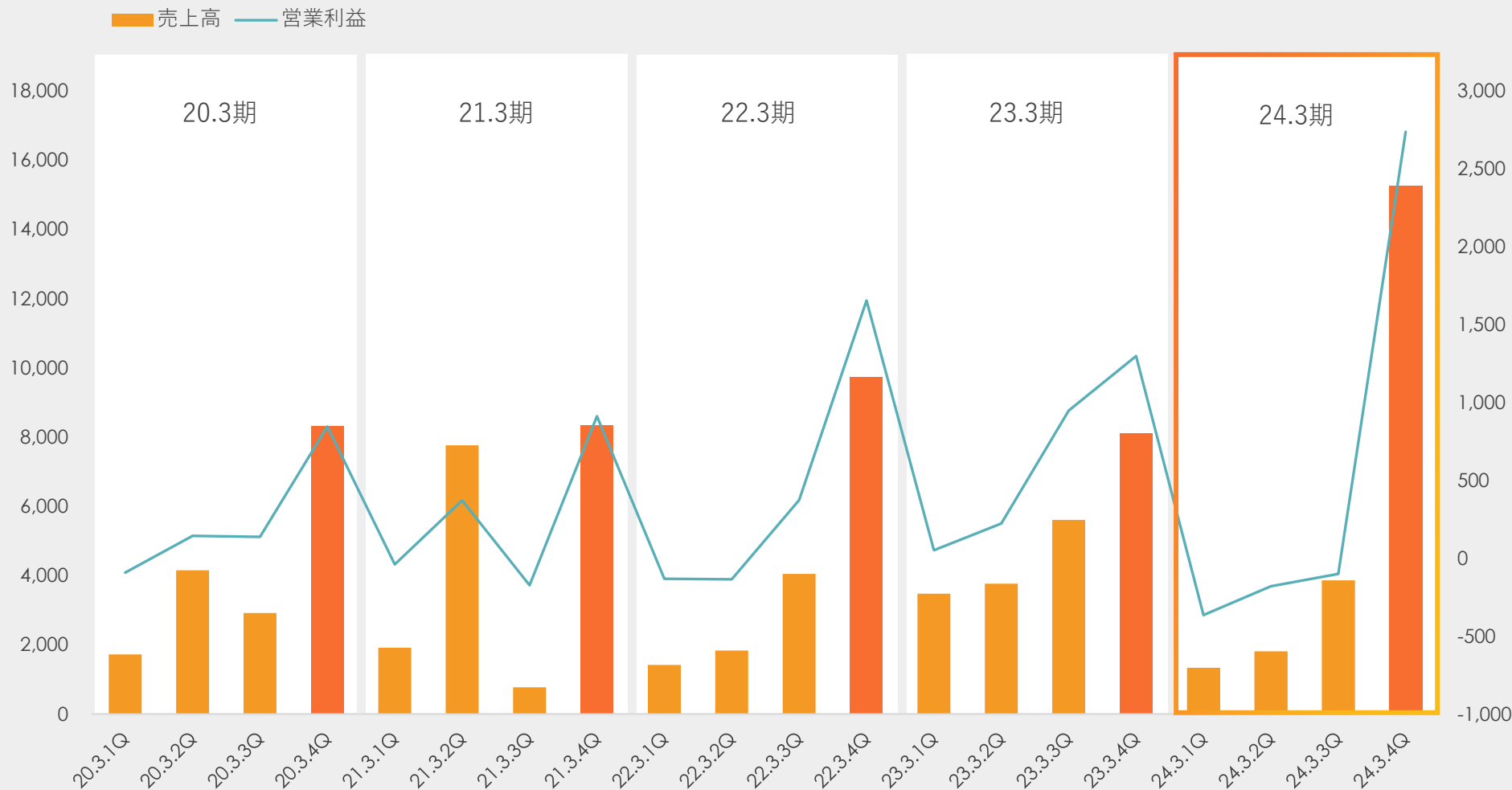
特別損失
432百万円

※2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり四半期純利益の数値は当該分割を遡及計算しています

※2024年3月期3Q決算よりP/Lが連結決算となっておりますので、前年同期実績、増減額、増減率はご参考として前年同期個別の数値を記載しています

Q別損益推移

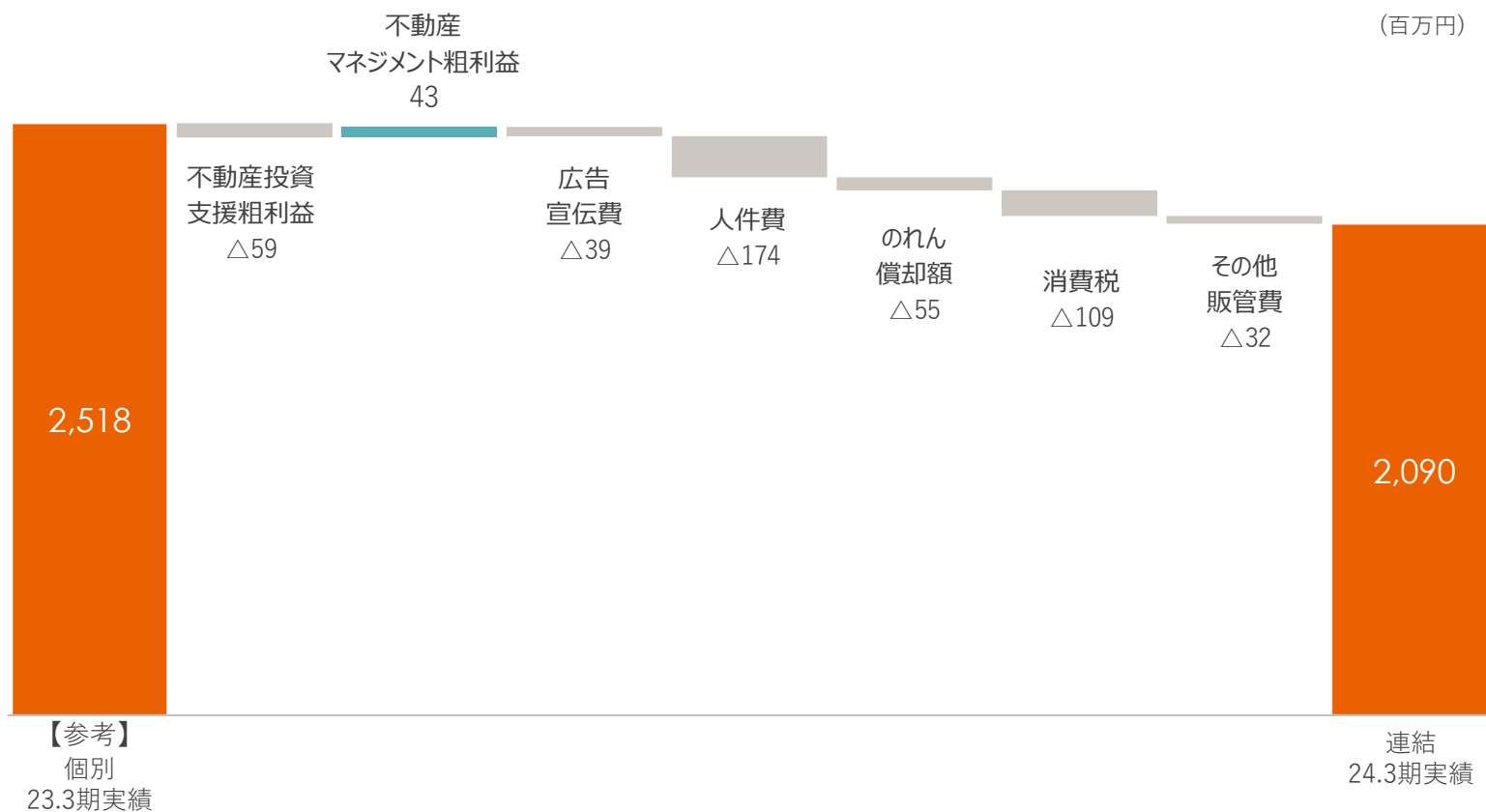
不動産業界の特性上、第4四半期に売上・利益が偏重する傾向で、今期は特に第4四半期に集中



※2024年3Q決算よりP/Lが連結決算となっておりますので、2024年3月期3Q以降は連結の数値を記載しています

2024年3月期 連結営業利益増減要因

人員増による人件費増加



2024年3月期 連結B/Sサマリー

(百万円)

	【参考】 個別 23.3期末	連結 24.3期末	【参考】 増減額
流動資産	18,102	23,215	5,113
固定資産	2,495	3,394	898
資産合計	20,598	26,609	6,011
流動負債	5,285	7,869	2,584
固定負債	8,433	11,308	2,875
負債合計	13,718	19,177	5,459
純資産	6,879	7,431	552
負債純資産 合計	20,598	26,609	6,011

開発用地の仕入推進による棚卸資産の増加

仕掛販売用不動産	+ 4,079 百万円
販売用不動産	+ 1,806 百万円
現金及び預金	+ 916 百万円
完成工事未収金	△ 746 百万円

HD社への出資、岩本組子会社化に伴う増加

投資有価証券	+ 68 百万円
のれん	+ 726 百万円

用地仕入に伴う借入金の増加

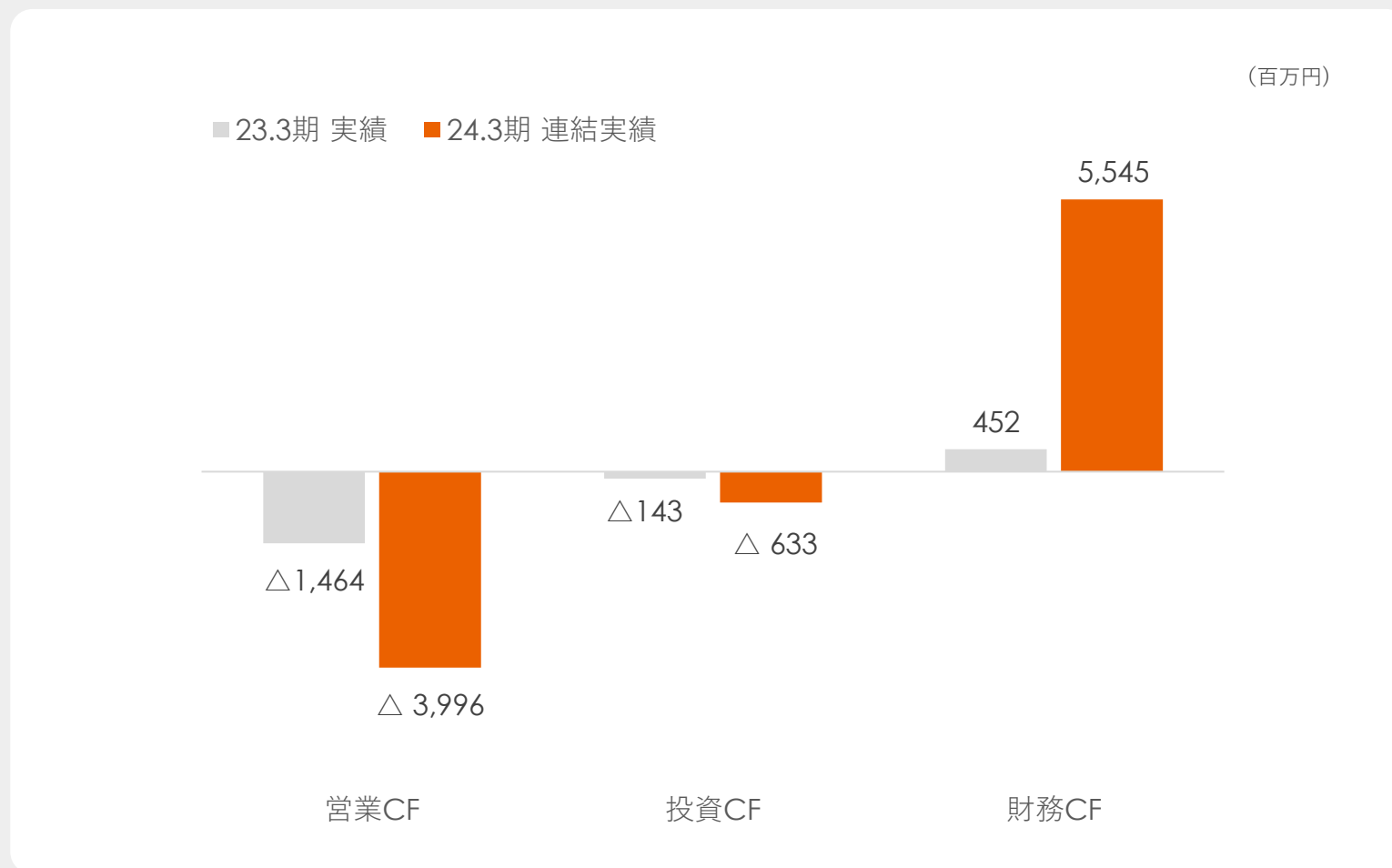
1年内返済予定長期借入金	+ 3,083 百万円
工事未払金	+ 387 百万円
前受金	△ 775 百万円

用地仕入に伴う借入金の増加

長期借入金	+ 2,803 百万円
-------	-------------

2024年3月期 連結決算 C/F

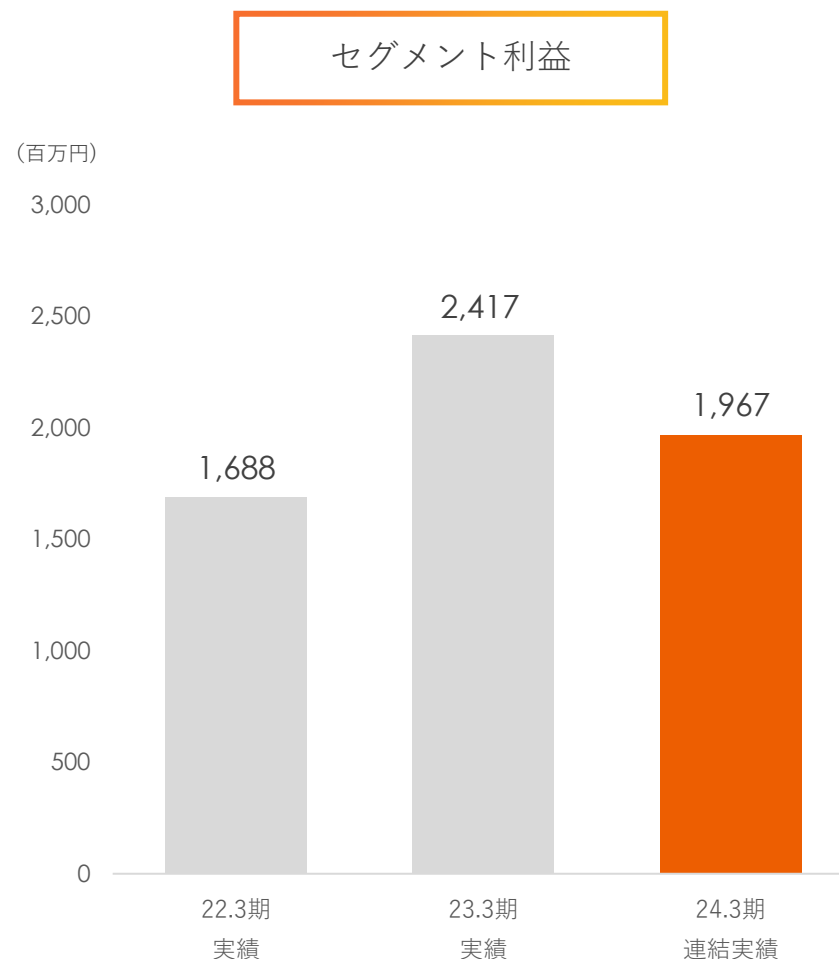
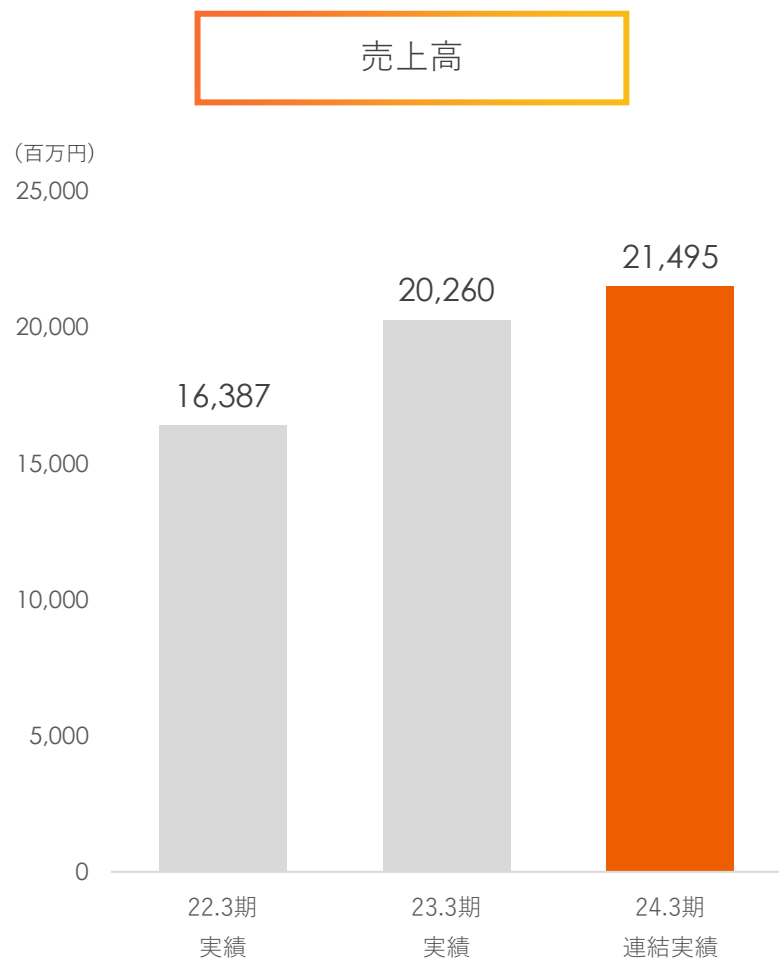
営業C/F 棚卸資産の増加等による支出



セグメント別業績

不動産商品 **15** 件販売、建築商品 **13** 件販売

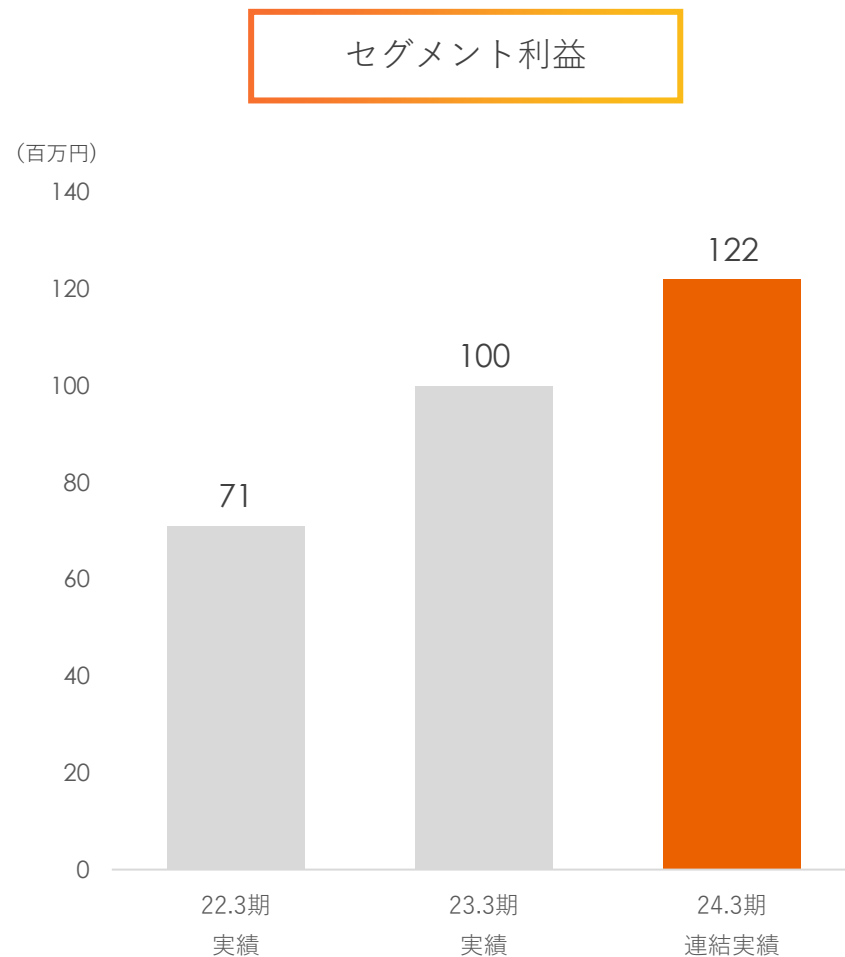
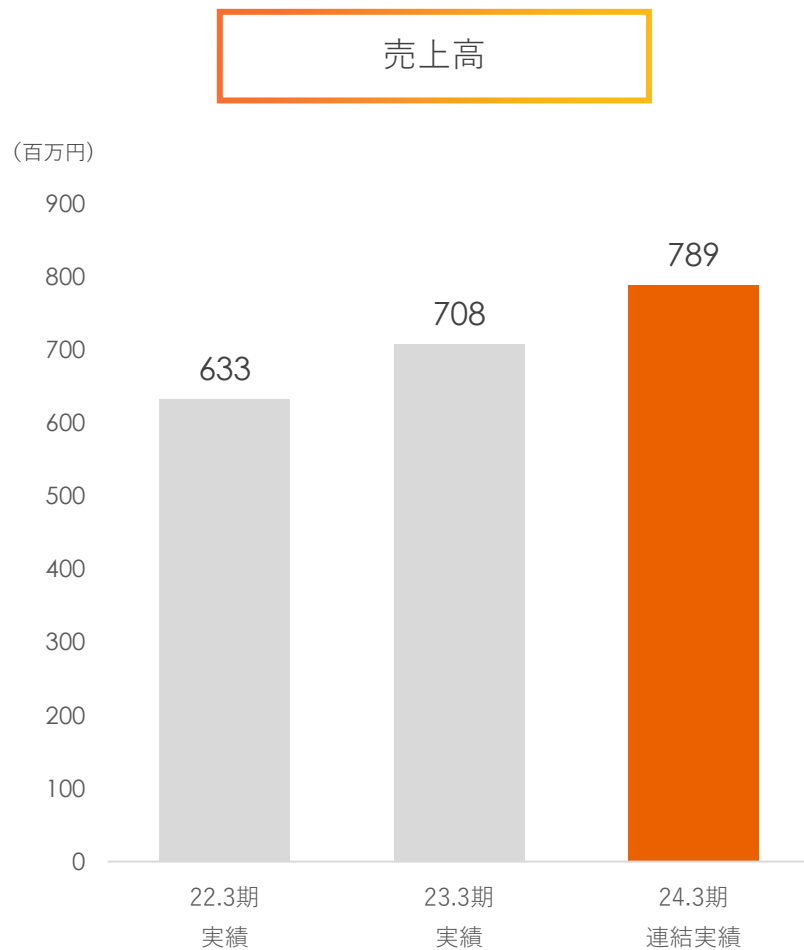
竣工物件平均販売単価 **9億88** 百万円





不動産マネジメント事業

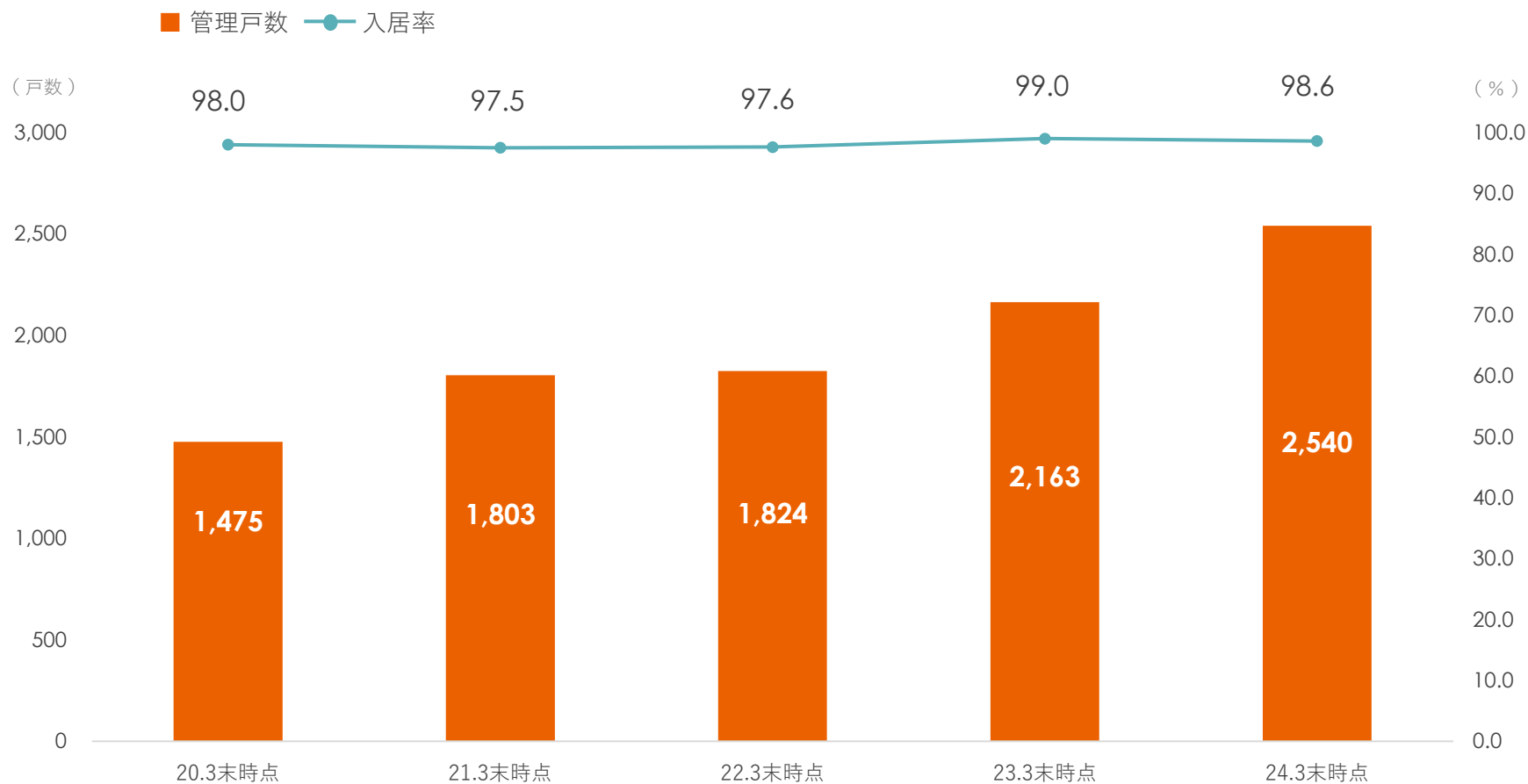
管理戸数の増加により売上高・セグメント利益は堅調に推移



管理戸数

※ 2024年3月末時点

2,540 戸 / **206** 棟



その他の取り組み

環境性能認証マンション竣工

- 建築物省エネルギー性能表示制度
- BELSの最高等級★★★★★を取得



GranDuo用賀6



GranDuo経堂18

「Well-Being」デザインコンセプト策定

- 「GranDuo」シリーズが、住むことで「ウェルビーイングな暮らしを実現できる」賃貸マンションであるための指針
- オーナーの所有価値と入居者の体験価値を高める

“Well-being”

当社開発物件に展示するアートコンペ開催

- 東京藝術大学ヨコミゾマコト研究室と共催で 高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO奥沢2」のエントランスに展示するアート作品のコンペを実施



THE GRANDUO奥沢2
2025年1月竣工予定

世田谷ドリームプロジェクト

- 地域貢献と若者の夢の実現を支援する取り組み
 - ▶ エフエム世田谷でのラジオ番組提供
 - ▶ アート・音楽分野のコンテスト開催

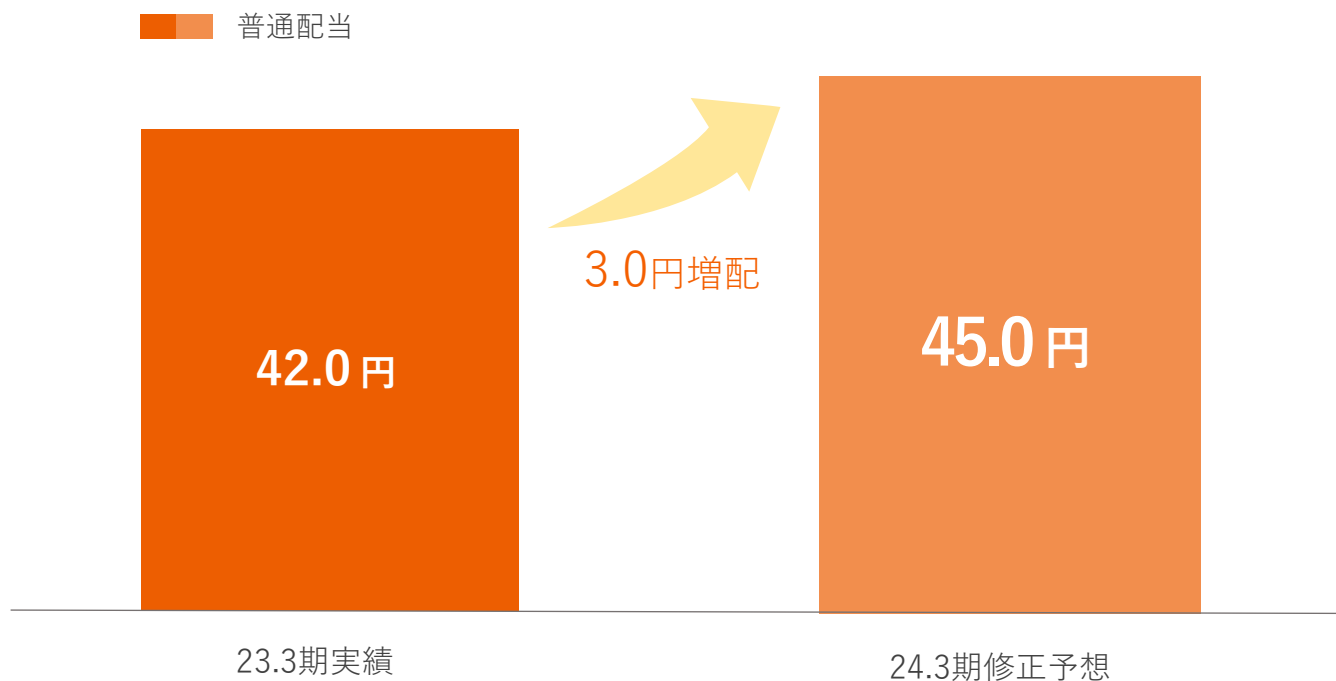


株主還元

配当方針

2024年3月期
配当の考え方

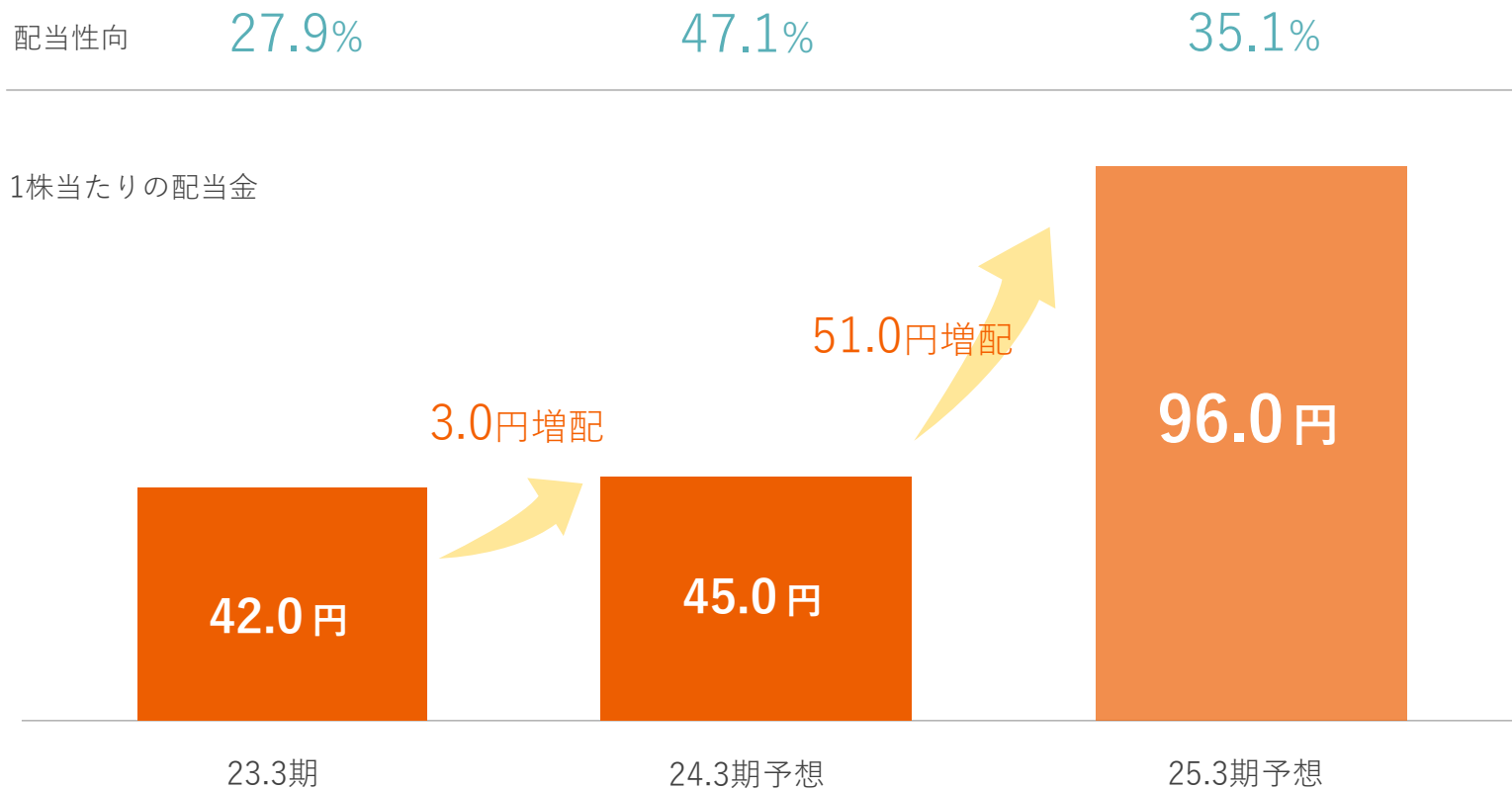
配当方針（配当性向35%）のもと、年度業績を踏まえ、一過性の会計要因である特別損失の影響を除いて算定



※2023年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、2023年3月期は当該分割を遡及計算しています

2025年3月期配当予想

2025年3月期の配当は年間 **96.0円** の予想



※2023年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、2023年3月期は当該分割を遡及計算しています

中期経営計画



開発物件の大型化と物件価値の
最大化による収益力の更なる向上



市場ニーズに合致した不動産商品の
開発・事業展開による新たな顧客層の獲得



持続的な成長を反映した株主還元強化



持続可能な経営基盤の構築

重点施策の進捗状況

1

商品開発・事業展開の多様化による新たな顧客層の開拓

➡ 「城南ファンド」へ3物件を売却 / 「グランファンディング渋谷」完売

2

「GranDuo」シリーズの大型化と物件価値の向上

➡ 竣工物件の販売単価 7.1億円⇒9.9億円 / デザインコンセプト「Well-Being」策定

3

高級レジデンスの開発

➡ 「THE GRANDUO」シリーズ 7プロジェクト進行中

4

適正な利益分配による株主還元の強化

➡ 株主還元方針として配当性向35%以上 / 2024年3月期は3円増配予想

5

ワンストップサービス体制の充実による経営基盤の強化

➡ 施工部門の人材育成プログラム導入 / セールスフォースの運用整備を推進

中期経営計画 最終年度(2026年3月期)数値目標

利益率を維持した上での持続的な成長を最重要目標とし、計画数値に変更なし

数
値
目
標

連結売上高

400億円

CAGR(23~26)

24.0%

経常利益

50億円

CAGR(23~26)

29.5%

ROE

每期**20**%以上

ROIC

每期**10**%以上

配当性向

每期**35**%以上

2025年3月期 連結業績予想

2025年3月期 連結業績予想

2024年3月期に販売出来なかった大型物件は2025年3月期の計画に織り込む

(単位：百万円)

	24.3期 連結実績	25.3期 連結計画	増減額	増減率
売上高	22,284	33,000	10,715	48.1%
営業利益	2,090	4,300	2,209	105.7%
経常利益	1,784	4,000	2,215	124.1%
当期純利益	943	2,700	1,756	186.2%

販売予定物件

不動産商品 **17** 件、建築商品 **17** 件、合計 **34** 件 を予定



開発中のプロジェクト

43プロジェクトが進行中（世田谷30、目黒4、渋谷2、その他7）

No.	プロジェクト名	所在地 (区)	延床面積 (㎡)
1	GD下北沢12	世田谷	1947.15
2	GD下北沢13	世田谷	596.40
3	GD下北沢14	世田谷	553.89
4	GD下北沢15	世田谷	471.42
5	GD千歳船橋6	世田谷	938.94
6	GD経堂18	世田谷	792.45
7	GD経堂19	世田谷	664.72
9	GD砧	世田谷	1264.48
10	GD駒沢11	世田谷	450.28
11	GD奥沢	世田谷	999.72
12	GD祐天寺2	世田谷	1100.00
13	GD世田谷弦巻	世田谷	742.77
14	GD代々木上原 3	世田谷	597.22
15	GD祖師谷5	世田谷	660.72
16	GD祖師谷6	世田谷	767.14

No.	プロジェクト名	所在地 (区)	延床面積 (㎡)
17	GD祖師谷7	世田谷	727.63
18	GD千歳烏山	世田谷	989.28
19	GD二子玉川7	世田谷	549.49
20	GD二子玉川8	世田谷	660.68
21	GD梅ヶ丘	世田谷	701.60
21	TGD用賀	世田谷	1898.90
22	TGD桜新町	世田谷	582.33
23	TGD奥沢2	世田谷	679.02
24	TGD千歳船橋	世田谷	1204.85
25	TGD羽根木PJT	世田谷	1003.90
26	TGD二子玉川	世田谷	1082.80
27	TGH新PJT (A)	世田谷	240.88
28	TGH新PJT (B)	世田谷	274.40
29	TGH新PJT (C)	世田谷	240.88
30	TGH新PJT (D)	世田谷	274.40

No.	プロジェクト名	所在地 (区)	延床面積 (㎡)
31	GD都立大学2	目黒	1312.31
32	GD都立大学 3	目黒	587.30
33	GD青葉台3	目黒	676.85
34	(仮)目黒鷹番PJT	目黒	1194.65
35	GD代々木公園2	渋谷	751.52
36	GD笹塚	渋谷	642.33
37	TGD南青山	港	1324.39
38	GD武蔵小山 4	品川	602.07
39	GD戸越銀座	品川	679.45
40	GD品川中延	品川	804.57
41	GD田園調布6	大田	1183.66
42	GD文京本郷	文京	776.96
43	GD荻窪2	杉並	986.75

2024/5/1時点

2025年3月期の重点施策

1. 金融機関との連携強化

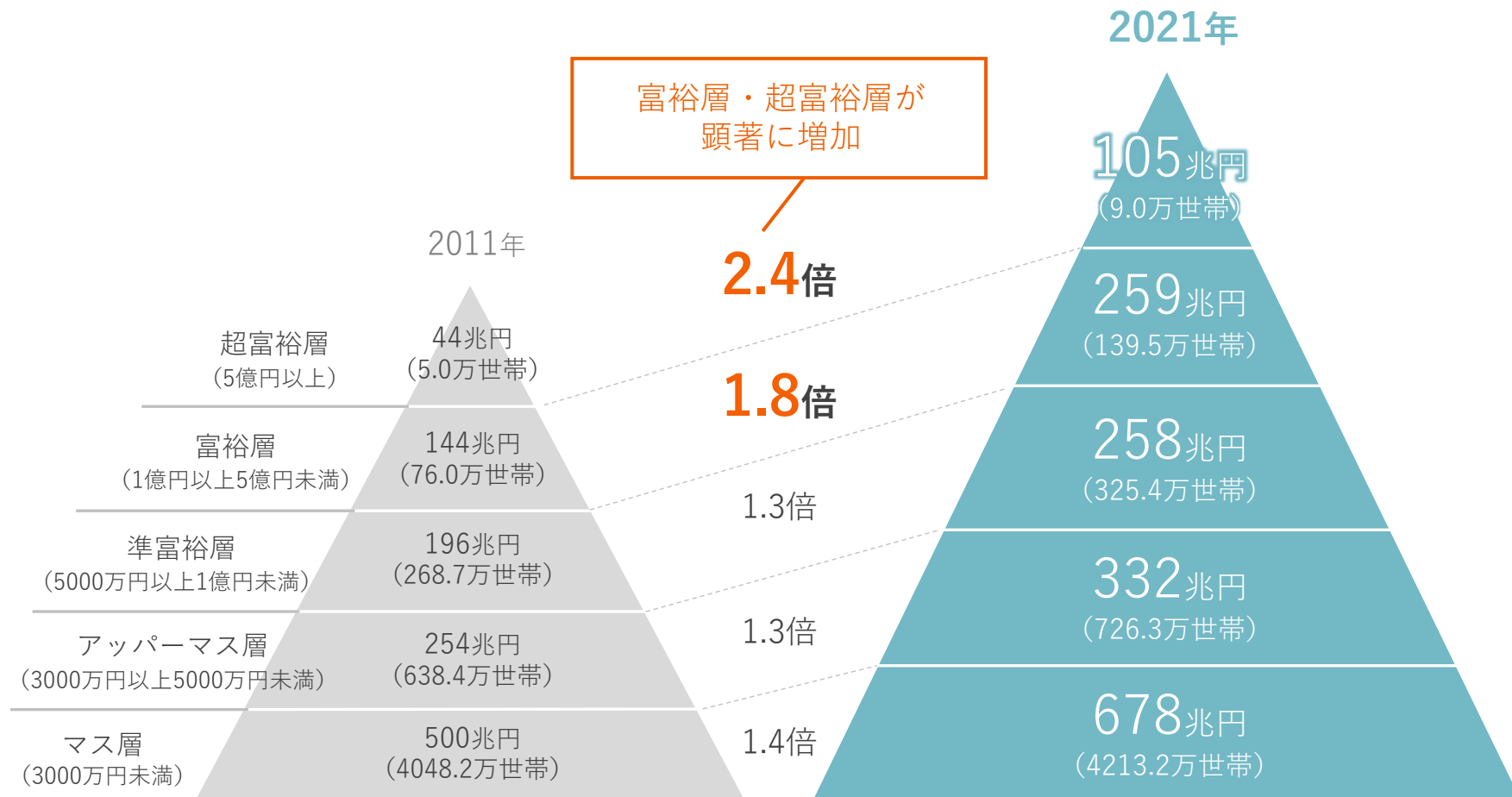
2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

4. 大型物件の開発推進

富裕層世帯と純金融資産の推移

純金融資産保有額の階層別に見た保有資産規模の推移



※株式会社野村総合研究所「純金融資産保有額の階層別に見た保有資産規模と世帯数」より当社作成

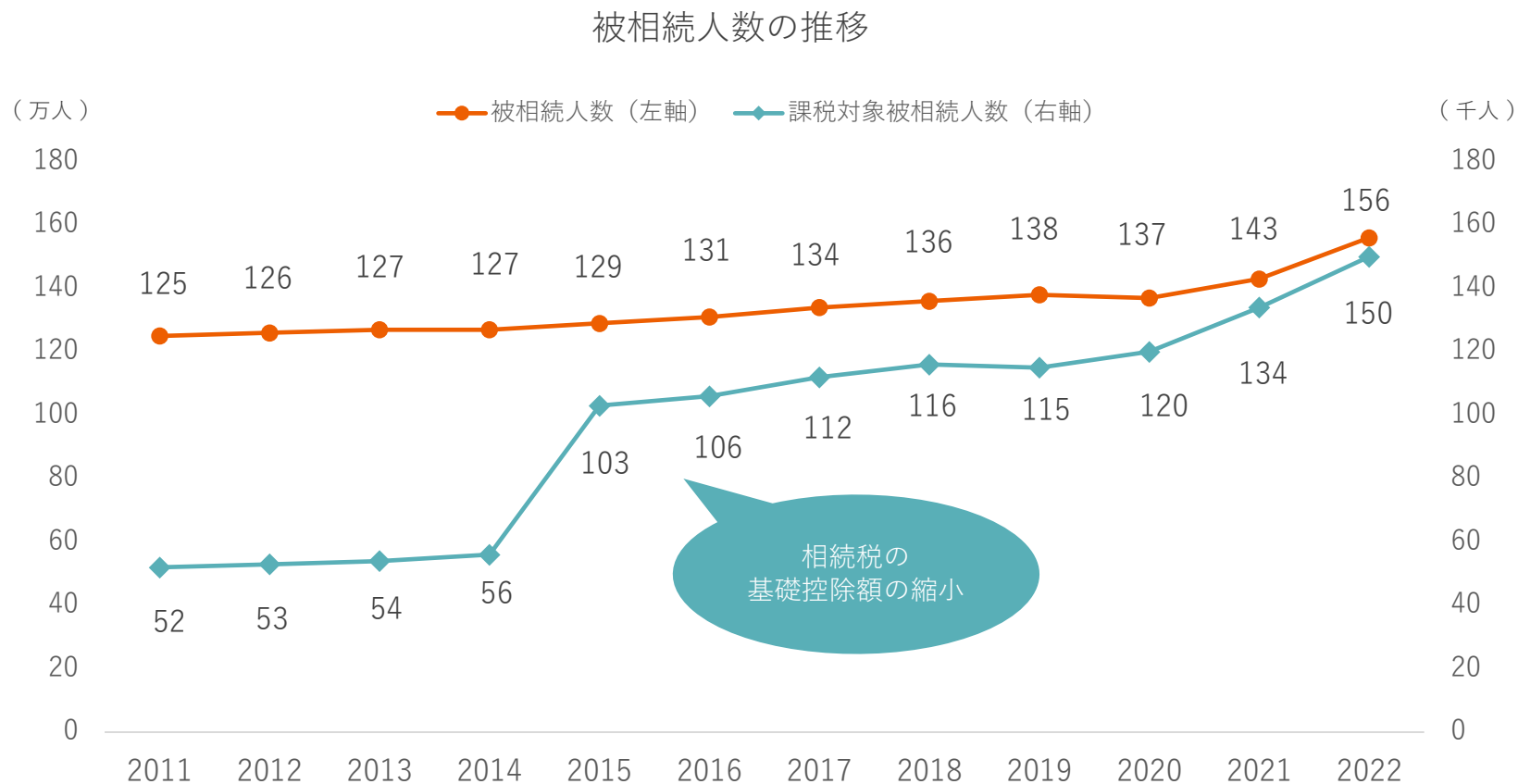
高級レジデンスの開発は増加

一定の富裕層の間で賃貸の手軽さや利便性を求める需要が増加傾向
これに対応して高級賃貸レジデンスが開発されているが絶対数は不足

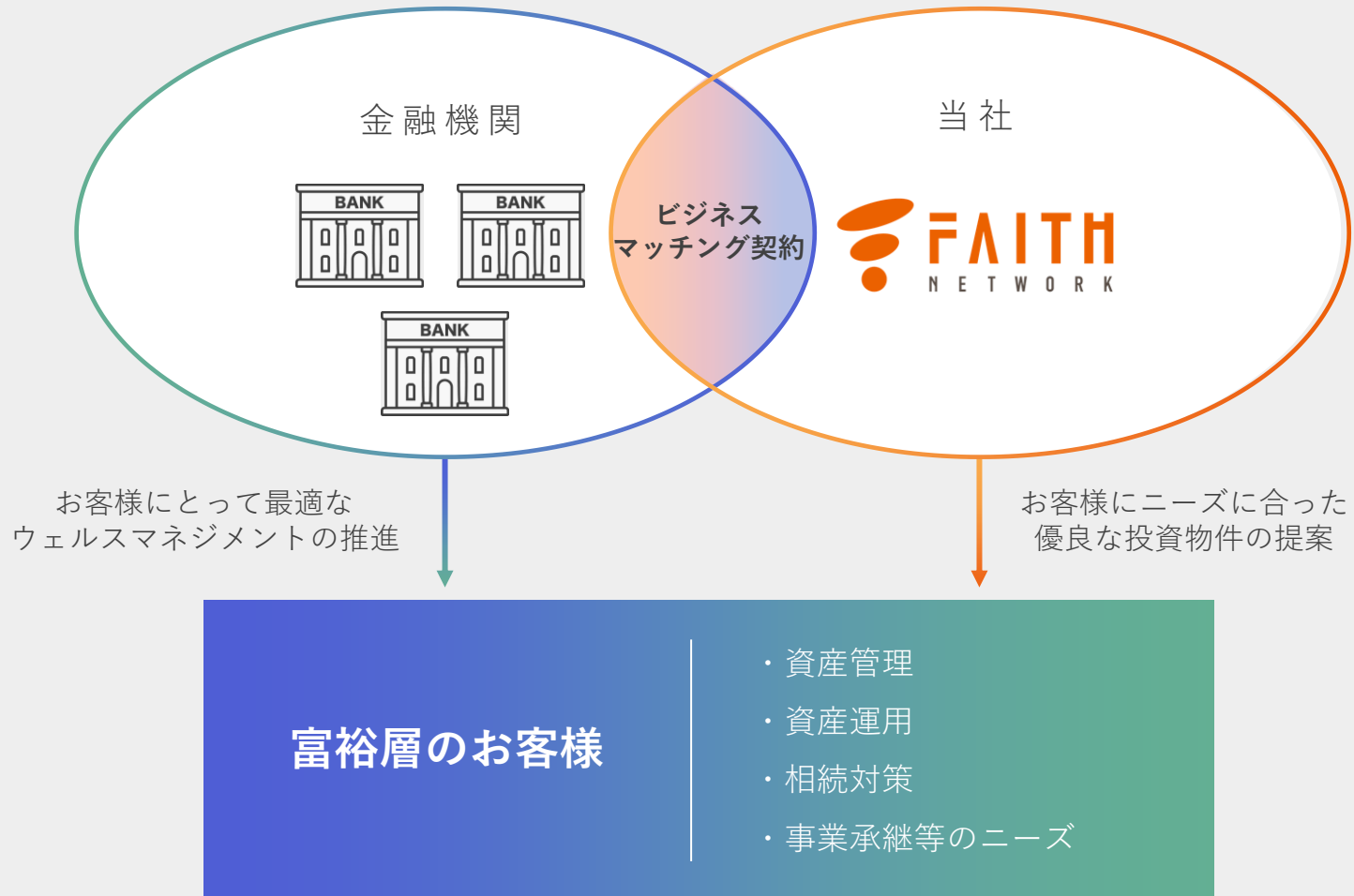
エリア	築年数	平米数	賃料/月	坪単価
六本木	築17年	159.35㎡	170万円	3.5万円/坪
渋谷	築14年	256.4㎡	320万円	4.1万円/坪
麻布台	築1年	164.4㎡	262万円	5.3万円/坪
広尾	築11年	226.82㎡	265万円	3.8万円/坪
青葉台	築15年	280.92㎡	230万円	2.7万円/坪
代官山	築14年	294.4㎡	219万円	2.4万円/坪
赤坂	築6年	172.4㎡	230万円	4.4万円/坪
虎ノ門	築10年	151.1㎡	174万円	3.8万円/坪
六本木	築21年	151.50㎡	190万円	4.1万円/坪
仙石山	築12年	90.20㎡	103万円	3.7万円/坪
恵比寿	築5年	106.09㎡	130万円	4.1万円/坪
神宮前	築4年	80.65㎡	83万円	3.5万円/坪
代々木上原	築1年	175.73㎡	175万円	3.2万円/坪

被相続人数・課税対象被相続人数の推移

相続税の課税対象者増加に伴い、資産承継に対する不動産の活用ニーズが高まる
課税割合は10年で4.3%⇒9.6%へ



※ 国税庁『令和4年分 相続税の申告事績の概要』の資料を基に当社にて作成



1. 金融機関との連携強化

2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

4. 大型物件の開発推進

創造する多様な価値

デザインコンセプト = ウェルビーイング

“Well-being”

物件開発におけるデザインコンセプトに「ウェルビーイング」を掲げ具体的なテーマとして9つの指針を策定
住むことで「ウェルビーイングな暮らしが実現できる」賃貸マンションとして、物件価値の向上を目指す

ウェルビーイングのある暮らしを
実現するための3つの方向性



Theme 入居者の健康・美容向上効果に繋がる体験価値

1 心と体の健康促進 Good for Health



心身ともに充実し、健康的になれる暮らしを送るために。
ex) 快眠を得られる寝室

2 美容効果マインドフルネス Good for Beauty



美容効果のある設備や気分を高揚させるデザイン演出を。
ex) ホテルライクな洗面室デザイン

3 集中と緩和 On & Off



季節や時間を意識した暮らし、そしてニューノーマルな住空間。
ex) 照明演出でリモートワーク効率化

Theme 社会問題に配慮した、環境負荷軽減を目指した空間

4 緑化・自然共生 Biophilic Design



自然とのつながりを大切にし、育む。緑を感じる住空間に
ex) 自然共生を意識した共用部の緑化

5 省エネ環境性能評価 BELS / ZEH



省エネな設備や建材、自然素材の採用により入居者の光熱費を削減。
ex) 建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) の取得

6 サステナブルデザイン Sustainable



循環型経済を実現するためのデザイン。経済的・社会的価値の創造。
ex) リサイクル建材の採用

Theme 多様なライフスタイルに対応した安心・安全な住環境

7 安心・安全 Safe & Secure



万一の災害にも備える。安心して日々の暮らしを送るために。
ex) 「防犯優良マンション」認定取得

8 多様なライフスタイル Diverse Lifestyles



時代とともにライフスタイルは多様化。柔軟な空間性能を。
ex) 職・住・遊がシームレスな住空間

9 アートのある暮らし Living with Art



日常的にアートに触れることでの感度向上。若者の夢実現のサポートも。
ex) アート作品のあるエントランス

※「ウェルビーイング」とは・・・単に病気ではないということではなく身体的・社会的・精神的に満たされた状態

寛ぎと癒しの特別な体験価値 “Relax & Recovery Experience”

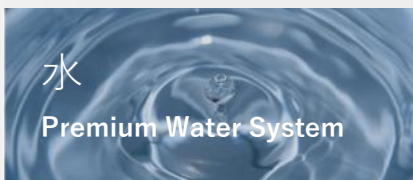
最先端の技術を有する様々な企業との連携により、賃貸マンションで「Well-Beingな暮らし」を実現できる空間を創造し、物件価値の向上を図る



空気
Specialty Air Space

集中力とリラックス、睡眠の質向上に貢献する空間の提供

連携企業



水
Premium Water System

美容や健康に最適なプレミアムで安心な水の提供

連携企業



光
Human Centric Lighting Plan

それぞれのライフスタイルに最適な照明環境の提供

連携企業



ECO
IoT/Energy Management

再生可能エネルギーの活用とエネルギーマネジメント

連携企業



ZEH/BELS
Development

環境認証対応物件の開発

1. 金融機関との連携強化

2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

4. 大型物件の開発推進

「新しい暮らし方」の提案

「GranDuo」に続く「新しい暮らし方」を提案する商品を展開



THE GRANDUO

- ・デザインと居住性の両立はもちろん、上質な暮らしにこだわった設備や、Well-Beingな暮らしを実現する様々な体験価値が得られる住空間
- ・物件ごとに多様な価値を生み出すため、設計はすべて邸宅の設計に実績のある建築家に依頼
- ・所有することに唯一無二のステータスが得られる投資用不動産



THE GRANDUO 南青山

2025年3月竣工予定



THE GRANDUO 千歳船橋

2025年2月竣工予定



THE GRANDUO 奥沢2

2025年1月竣工予定

NEXT 「THE GRANDUO」 PROJECT

世田谷エリア（用賀・桜新町・二子玉川・羽根木公園）で進行中

「新しい暮らし方」の提案

THE GRAN HAUS

- ・ ZEH仕様で環境に優しいエコマネジメント住宅
- ・ 住むだけで健康になれる、Well-Beingな暮らしを実現する様々な体験価値が組み込まれた住空間
- ・ 上質なデザインとハイグレードな設備
- ・ 一定規模の敷地面積（140㎡以上）を有する贅沢な仕様
- ・ 立地は最寄駅から至近の徒歩圏内ではなく、閑静な住宅エリア
- ・ 一つのエリアに複数戸（3～5戸）を開発し、実需にも仮需（投資用）にも対応



世田谷エリアで「THE GRAN HAUS」プロジェクト始動

1. 金融機関との連携強化

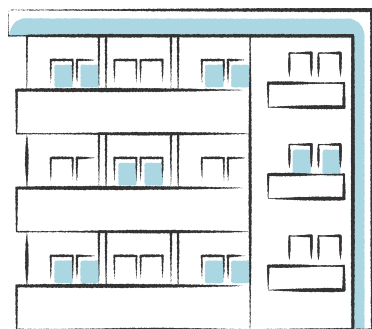
2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

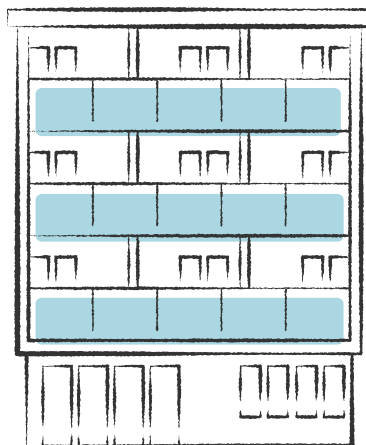
4. 大型物件の開発推進

大型物件の開発推進

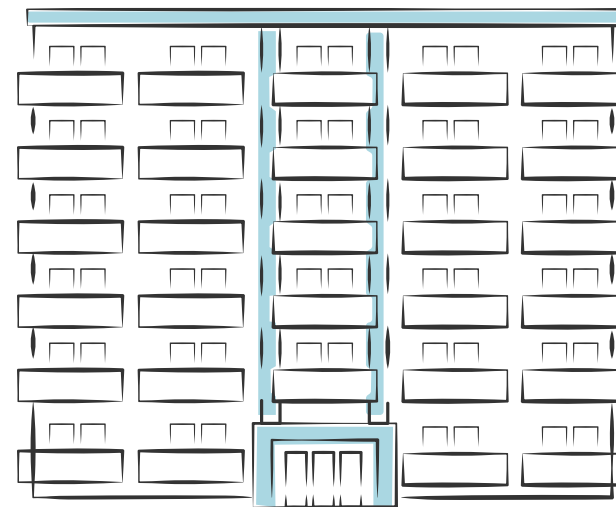
国内外の機関投資家や法人需要の増加に伴い、大型物件の需要拡大
大型化による物件当たりの収益性向上と物件開発の効率化を図る



2023年3月期
約7.1億円



2024年3月期
約9.9億円



2025年3月期
約12.1億円(計画)

2023年4月～2024年3月末までの竣工棟数

城南3区（世田谷区・目黒区・渋谷区）で
新築一棟RCマンションの竣工棟数

No.1

※ 株式会社建設データバンクのデータを基に当社調べ（2024年3月末時点）



300のSTORY

物件の数だけ想いがあります

參考資料

フェイスネットワークとは

入居者の「住みたい」とオーナーの「持ち続けたい」を満たす
デザインと居住性を両立させた投資用新築一棟RCマンションを
人が集まる東京の城南3区（世田谷区・目黒区・渋谷区）を中心に
ワンストップサービスで企画・開発し、
富裕層の個人投資家や機関投資家等に販売する会社



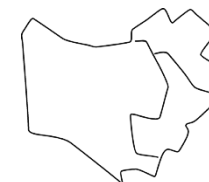
投資用不動産を企画販売する
「不動産投資支援事業」「不動産マネジメント事業」を展開



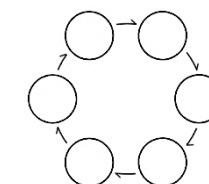
① 新築一棟RCマンション
グランデュオ
(GranDuo シリーズ)

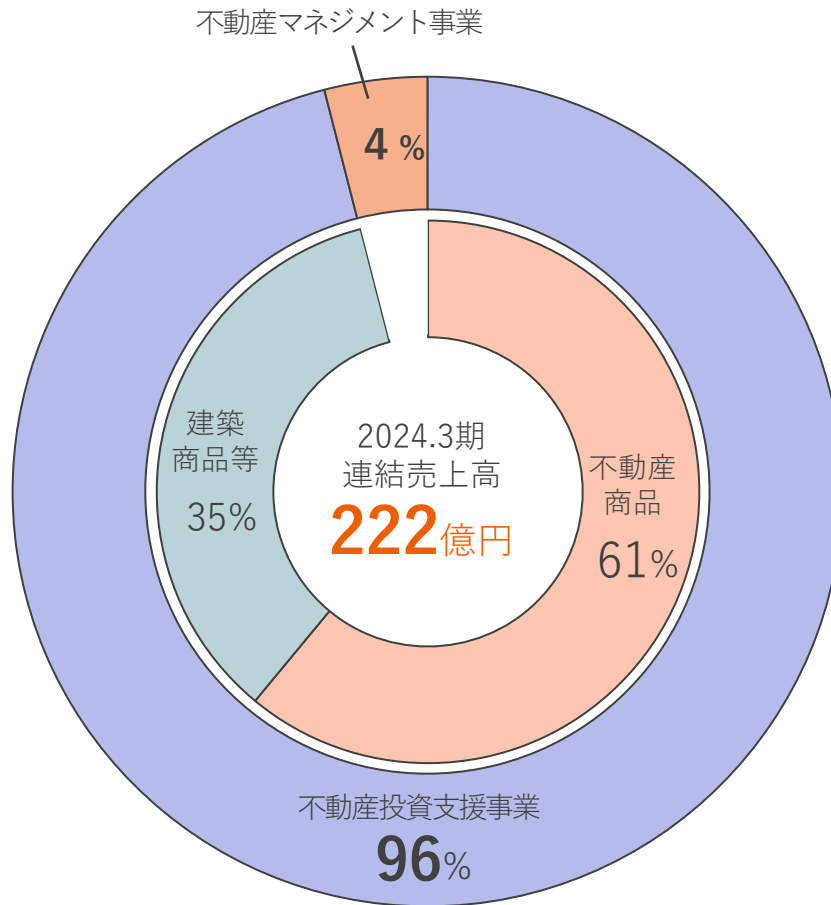


② 城南3区
(世田谷区・目黒区・渋谷区)



③ ワンストップサービス





※建築商品はその他受注商品を含む

不動産投資支援事業の商品形態

不動産商品

主に竣工した新築一棟マンションを投資商品として提供

建築商品

主に新築一棟マンション建築予定の土地を先行販売し、設計・請負工事契約を締結して建築・竣工

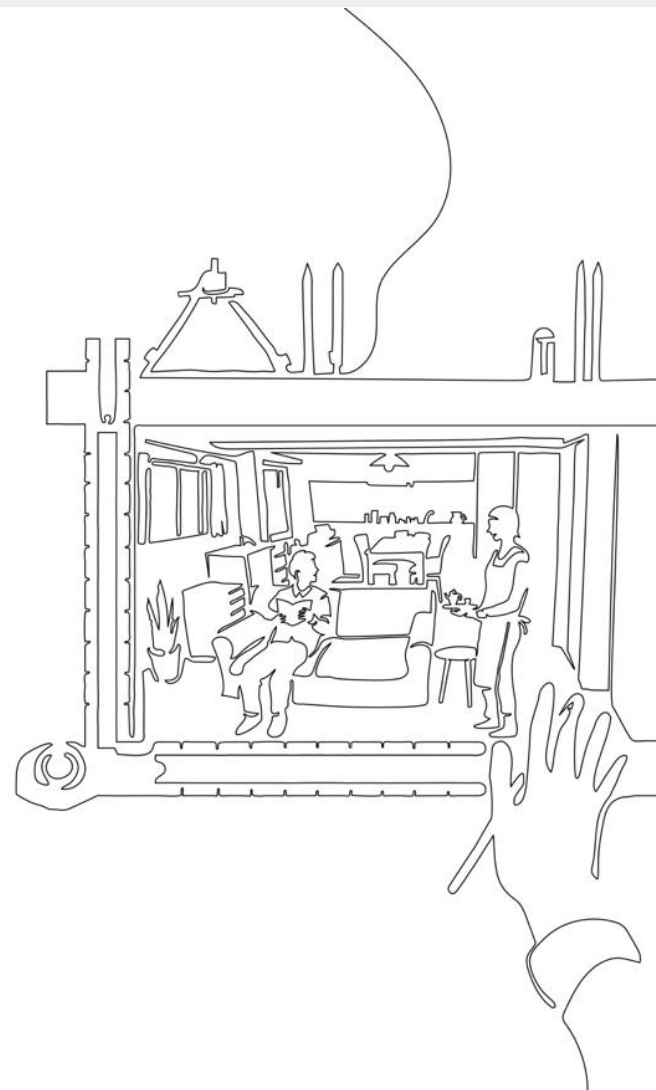
GranDuo シリーズ

グランデュオシリーズは、独自設計でプロジェクトごとにコンセプトを設定。そのコンセプトがデザインや間取りなどに落とし込まれることで付加価値が付き、他の賃貸物件との差別化を実現しています。

さらに、RC物件は寿命が長く優れた耐震性を持つという観点からも、長期的な運用を考えるオーナー様にとっては非常に大きなメリットとなります。

こうした要素は、入居者にとっても「安心できる住まい」として選ばれ、賃貸需要の安定的な確保につながります。

よって、長期的に安定した投資事業の運用を可能にします。

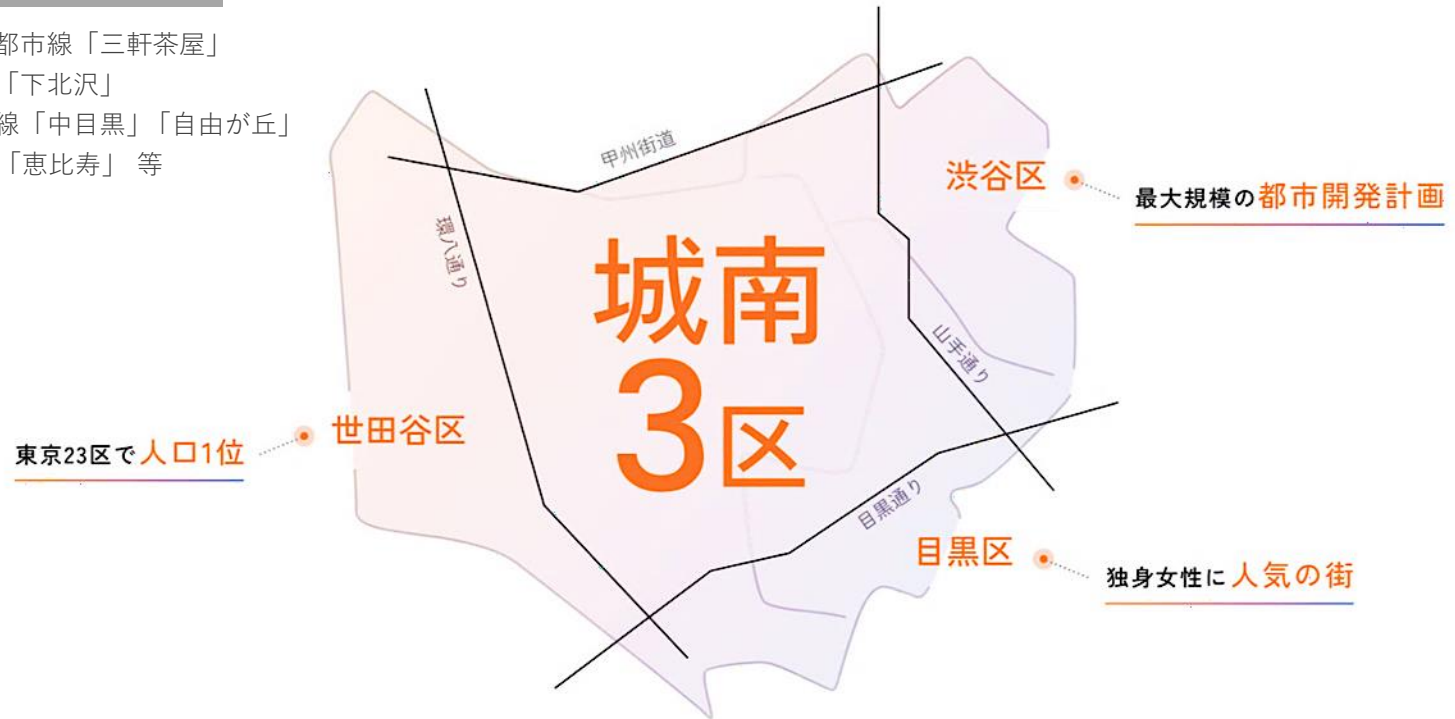


城南3区エリアの立地条件の優秀性

土地価格変動：**少ない** / 賃料価格変動：**少ない** / 賃貸需要：**多い** / 賃料相場：**高い**

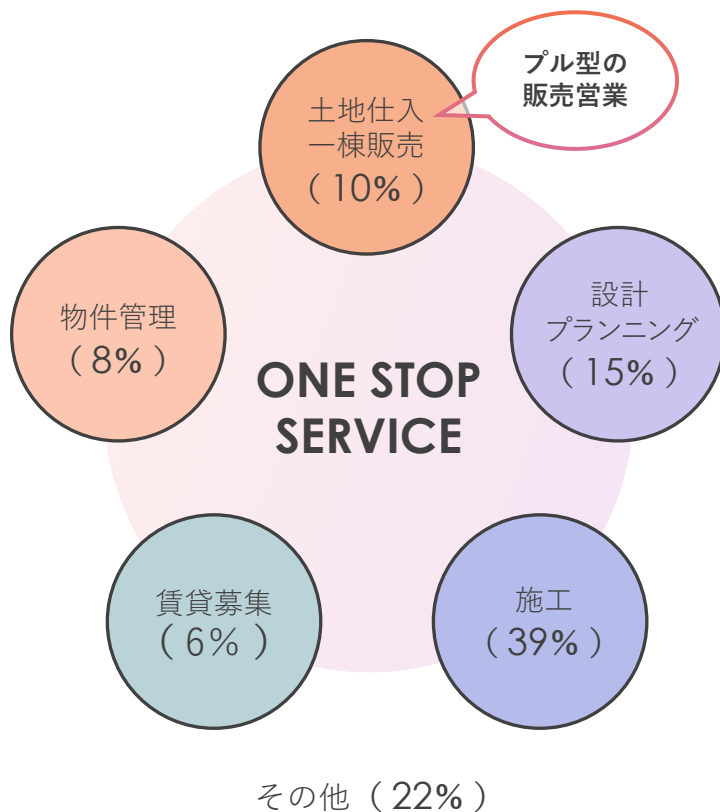
城南3区の代表的な街

東急田園都市線「三軒茶屋」
小田急線「下北沢」
東急東横線「中目黒」「自由が丘」
JR山手線「恵比寿」等



事業紹介 ③ワンストップサービス

当社グループの業種別人員数比率



※ 2024年3月末時点の従業員パーセンテージ
※株式会社岩本組合む

土地の仕入れ、設計・施工・賃貸募集・建物管理・一棟販売まで全てを一括して管理する「ワンストップサービス」を提供しています。

全て一括でサポートすることで、業者間で発生する中間コストの抑制、工期の短縮、収益性を高める企画の実行など、様々なメリットを生み出す「最大の武器」になると考えています。

中間コストの削減

スピーディーな対応

収益性を高める企画

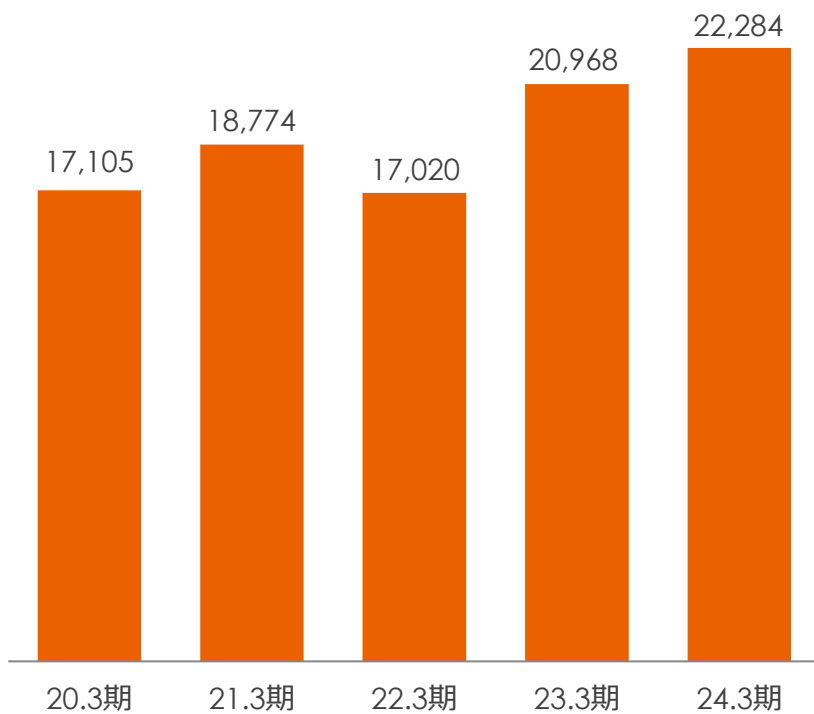
開発物件数276棟のうち、**206**棟（74.6%）を城南3区で開発



財務ハイライト

売上高

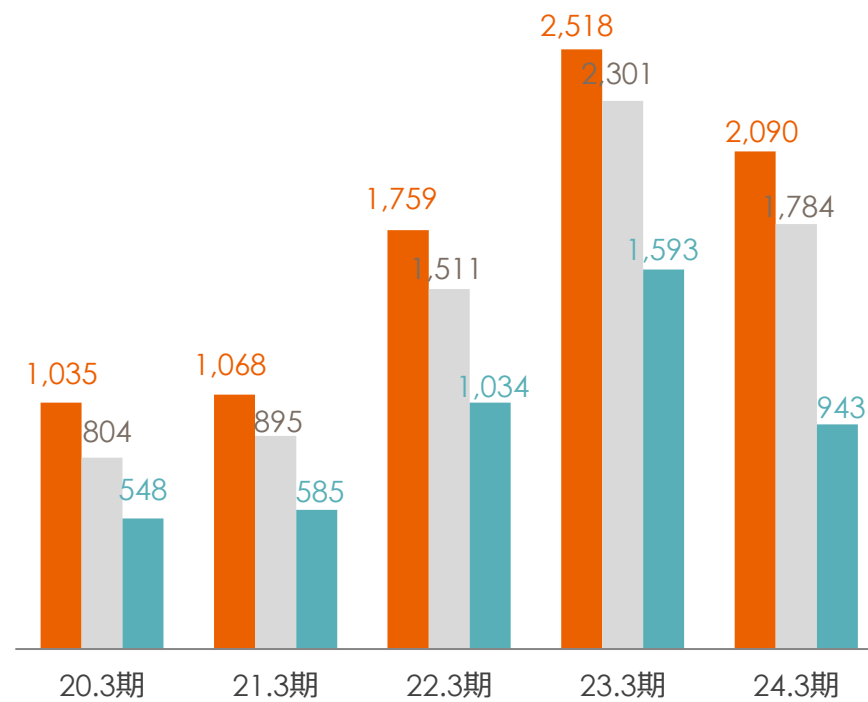
(単位：百万円)



利益

(単位：百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



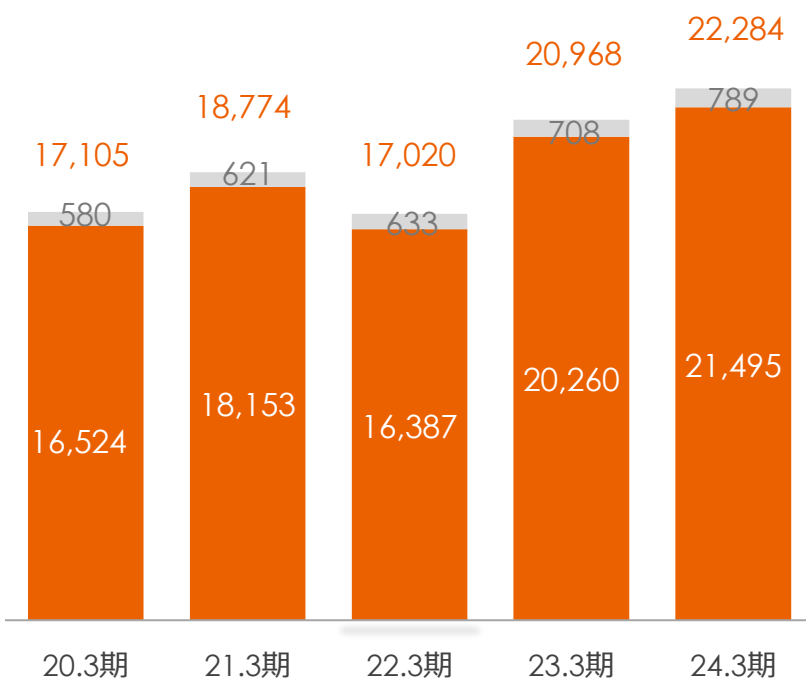
※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期は連結の数値を記載しています

財務ハイライト

セグメント売上高

(単位：百万円)

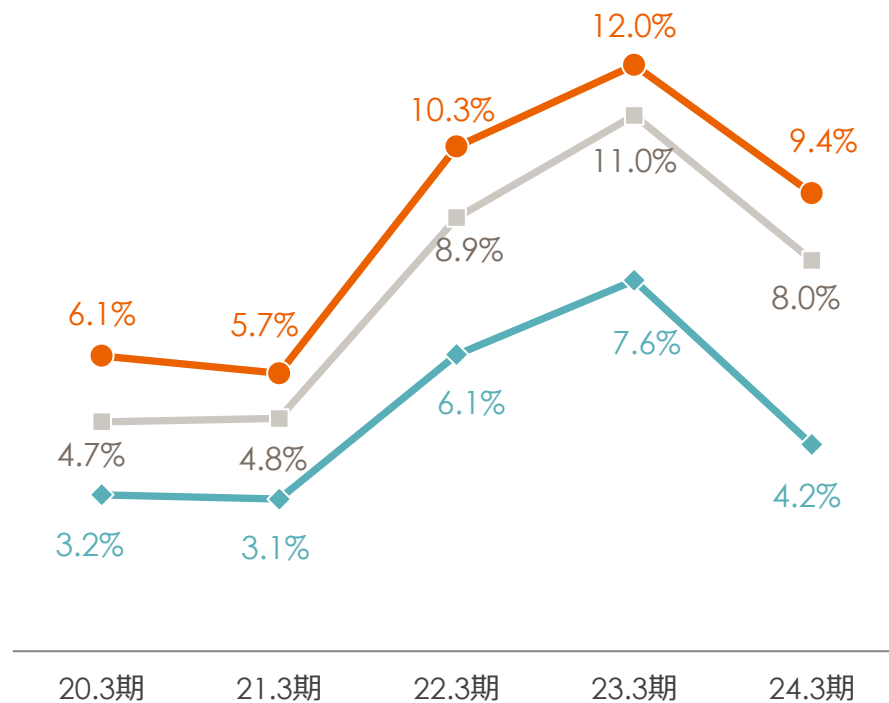
■ 不動産投資支援事業 ■ 不動産マネジメント事業



利益率

(単位：%)

● 営業利益率 ■ 経常利益率 ◆ 当期純利益率

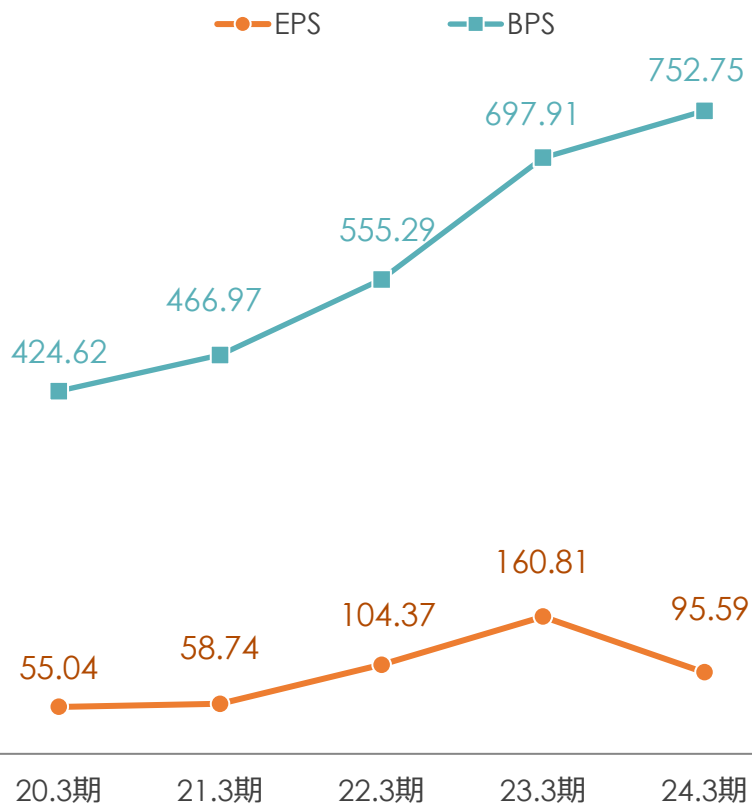


※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期は連結の数値を記載しています

財務ハイライト

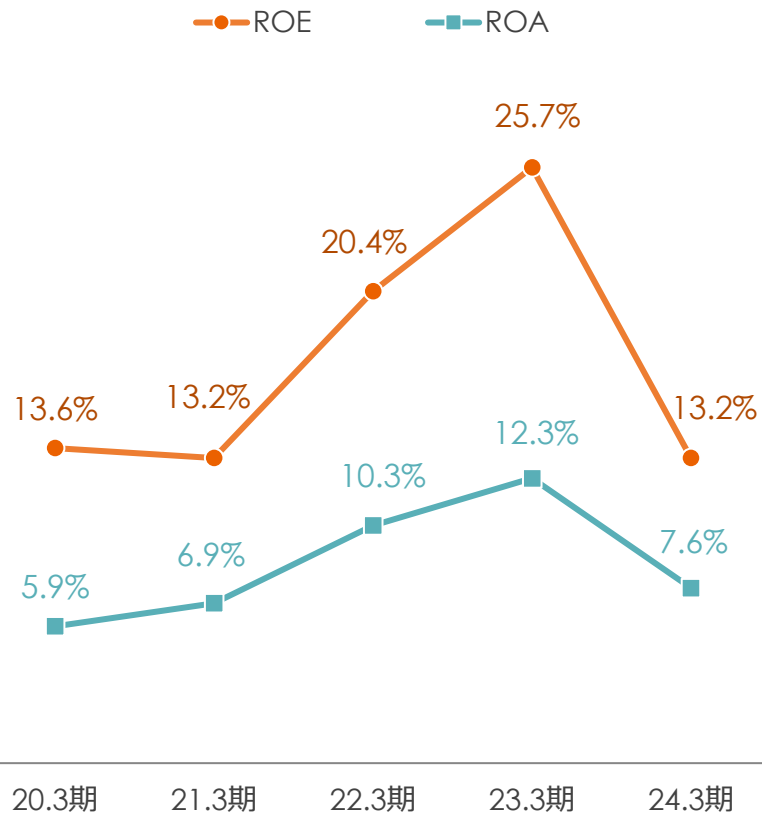
EPS・BPS

(単位：円)



ROE・ROA

(単位：%)

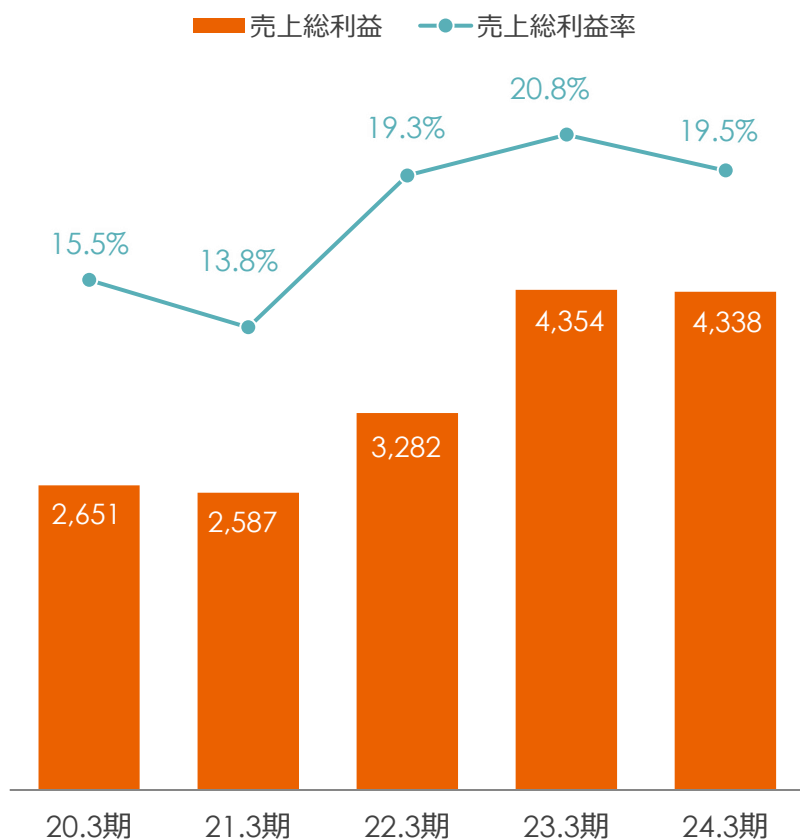


※2023年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、EPS・BPSの数値は当該分割を遡及計算しています。
※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期は連結の数値を記載しています

財務ハイライト

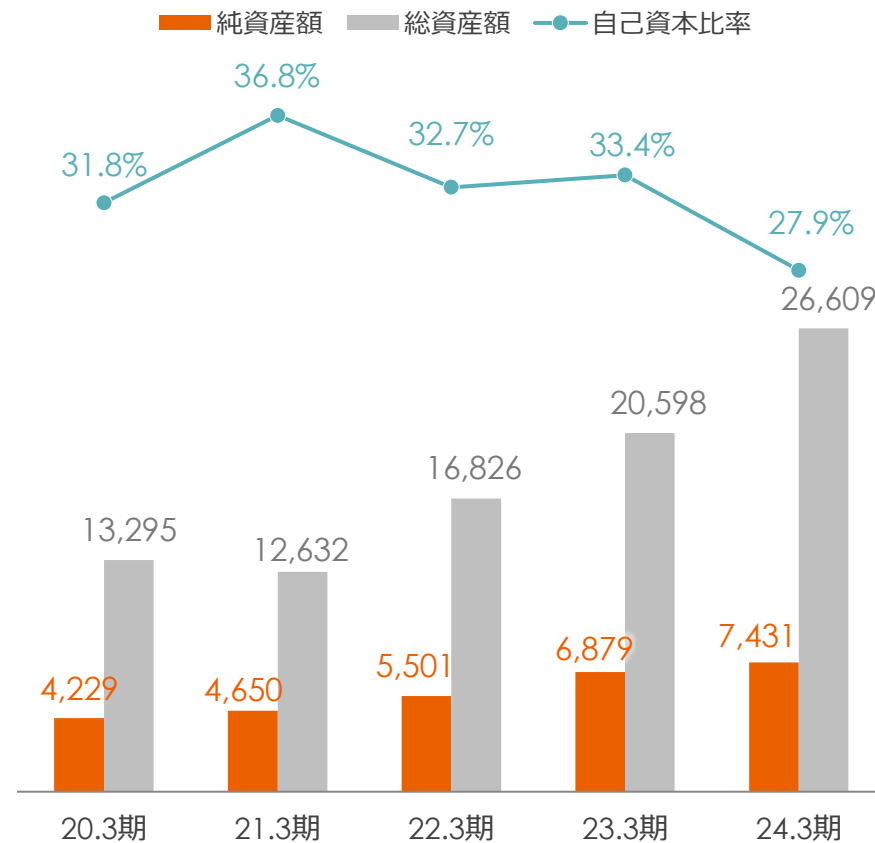
売上総利益・利益率

(単位：百万円)



総資産額・純資産額・自己資本比率

(単位：百万円)

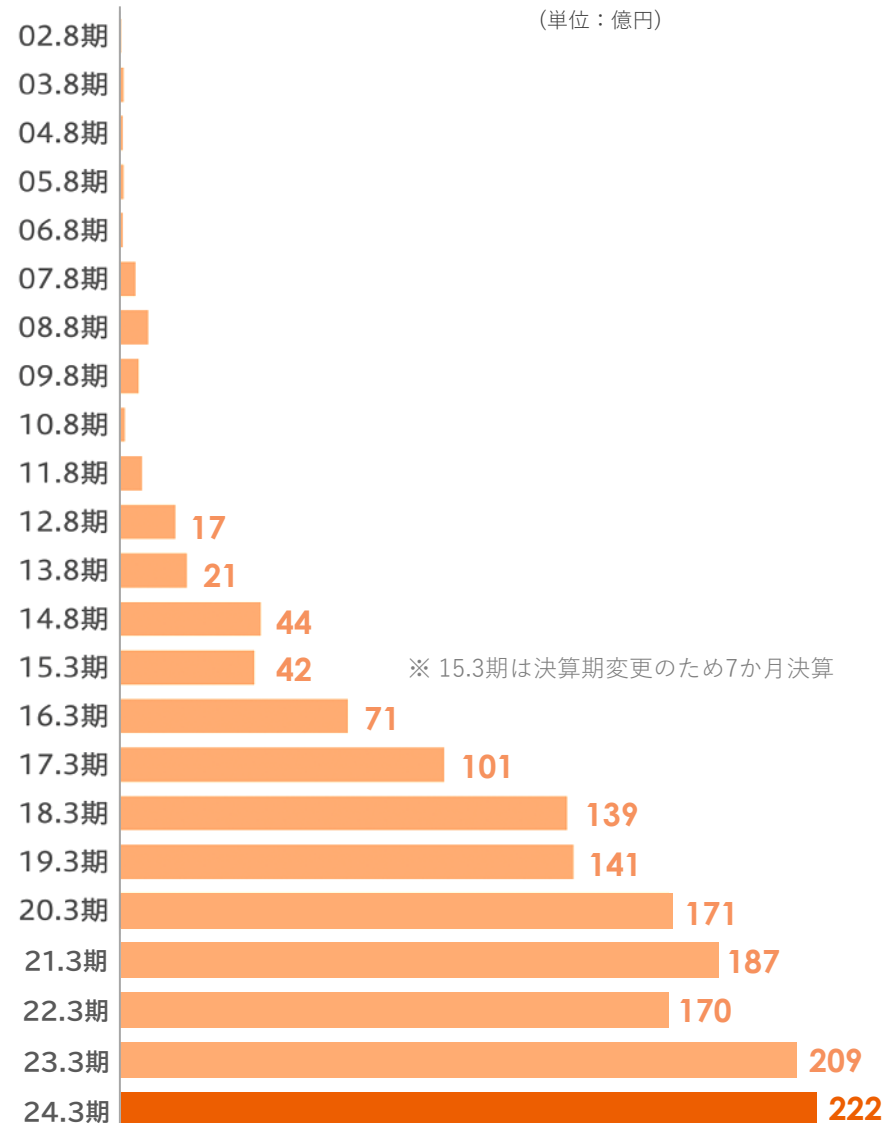


※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期は連結の数値を記載しています

- 2001年 10月 主に不動産投資コンサルティング事業を目的として有限会社フェイスネットワークを設立
- 2002年 3月 宅地建物取引業免許(東京都知事(1)第80509号)を取得
- 2003年 12月 新築一棟マンションの自社ブランドであるGranDuoシリーズを販売開始
- 2006年 5月 株式会社フェイスネットワークに商号変更
建設業許可(東京都知事許可第128202号)を取得
- 2007年 6月 一級建築士事務所登録
- 2010年 12月 特定建設業許可(東京都知事許可(特-22)第135866号)を取得
- 2011年 11月 「世田谷に利回り7%以上の新築RC一棟マンションを持つとう！」発売
- 2014年 12月 賃貸仲介店舗「3区miraie」を開設
- 2017年 5月 中古一棟ビルリノベーションの自社ブランドであるGrandStoryシリーズを販売開始
- 2018年 3月 東京証券取引所マザーズ市場へ上場
- 2018年 5月 賃貸住宅管理業者登録(国土交通大臣(1)第4858号)
- 2018年 9月 不動産特定共同事業許可(東京都知事 第111号)を取得
- 2018年 10月 アセットマネジメント事業を目的としてグランファンディング株式会社(現: FAITHアセットマネジメント株式会社)を設立
- 2020年 4月 資金調達及び認知度向上を目的としてFaithファンズ合同会社を設立
- 2021年 2月 東京証券取引所市場第一部へ市場変更
- 2022年 4月 東京証券取引所の市場再編に伴いプライム市場へ移行
- 2023年 7月 建築工事の設計・施工を行う株式会社岩本組を100%子会社化
- 2023年 10月 東京証券取引所スタンダード市場へ市場変更

売上高

(単位: 億円)



代表取締役社長 蜂谷 二郎

FAITH NETWORK

フェイスネットワークのフェイスは英語で「Faith」つまり「信頼」を意味しています
「信頼のネットワーク」が社名の由来です

- ・ 金融機関出身の起業家
- ・ 顧客との絆、高いリピート率
トップコンサルタントとして、セミナーから面談を一手に担う顧客との強い信頼関係が、高いリピーター率と新規顧客紹介につながる



